

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩尻市木曾平沢空き家活用事業(多機能型コミュニティー施設の省エネルギー化)
事業主体 (連絡先)	(一財) 塩尻市振興公社/(株)しおじり街元気カンパニーが受託 0263-88-8530 (しおじり街元気カンパニー・藤森)
事業区分	(1)地域協働の推進 (6)産業振興、雇用拡大 (オ その他)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,710,159円 (うち支援金: 1,304,000円)

事業内容

塩尻市木曾平沢地域で長らく空き家だった建物を「地域の課題解決に資する利活用」のため取得し令和2年度には元気づくり支援金を活用し建物の改修を行い、運用を開始しました。利用者から寒冷地・古民家の問題点である寒いこと(断熱性能が著しく低い)や、雨漏りや害獣被害等の問題の浮上や度重なる指摘があり改善策を模索する中でこれらの問題は地域全体が抱える問題と認識しました。地域で活躍する建築士や大工、住民と問題を共有し解決の道筋を探るワークショップを実施。雨漏りや害獣防除は専門家にも任せる手段を提示しつつ、地域内での住環境の向上と自然環境保護(炭素排出)にアプローチしました。



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ① 当該施設の断熱等問題改善
- ② 地域住民の意識の変化
- ③ 住、自然環境へのアプローチ
- ④ 空き家活用のモデルケースに

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・断熱ワークショップ参加者: 4名(地域内在住)
- ・参加者のうち2名が令和4年4月~6月ごろに自身の自宅での断熱工事に着手予定(今回依頼した建築士や施工業者、当該施設担当者が補助予定)
- ・冷え込みが厳しい時期の施設利用促進
(令和3年12月も14名の宿泊があり、令和4年3月~4月も40名の宿泊予約有り(昨年度実績: 0))
- ・躯体問題解決に伴い、利用制限が無くなる(昨年約30組だった宿泊利用の2倍の受け入れ体制が整う)

※自己評価【 B 】

【理由】

事業の実施と得られた効果には満足しているが、想定しているよりもコロナウイルスの感染拡大状況が悪化しており、ワークショップ参加人数等に一部制限が出たため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和4年度、当該施設は昨年の2倍となる約60組を超える利用者(宿泊・時間利用)を受け入れ、初夏より飲食の新事業を展開します。空き家を使える状態に再生させたというだけでなく、より多くの地域内外の人が活用するようになり、空き家活用モデルとして発信していきます。また、令和4年度は木曾平沢を含む旧檜川地域を中心に詳細な空き家調査を行います。その上で、これまでの知見を活かし、次に活用できる建物を地域住民(組織)と共に整理し、活用の方法を検討しながら、住環境等に悩む人の相談窓口も兼ねることを目標としています。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある